

様式13

会派視察研修計画書

令和 4年 7月25日

碧南市議会議長 様

会派名 公明党

代表者名 加藤厚雄

下記のとおり、視察（研修）を計画したので届け出ます。

参加議員	加藤 厚雄 ・ 大竹 敦子	
日時	令和 4年 8月 8日（月）～令和 4年 8月10日（水）	
視察先	徳島県鳴門市 ・ 兵庫県神戸市	
研修内容	鳴門市 フェーズフリーなまちづくり事業について	神戸市 がん対策推進条例について
日程	8月8日 10時半 碧南市発 17時 鳴門市着 宿泊（NEXEL α 鳴門 088-685-2277） 9日 9時半 鳴門市長表敬訪問 10時～11時半 研修 午後 現地視察 19時 神戸市着 宿泊（KOKOホテル 078-391-8182） 10日 10時～11時半 神戸市役所 視察研修 14時 神戸発 17時 碧南市着	
交通手段	公共交通機関利用 乗降車駅名（ ）	自家用車利用 _____ 台 所有者名（ ）

（議会事務局記入）

旅費の額	(内 訳)
円	

会派視察研修報告書

令和 4年 ~~9月16日~~ ^{11月15日}

碧南市議会議長 様

会派名 公明党
代表者名 加藤厚雄

下記のとおり、視察（研修）を実施したので報告します。

なお、参加者議員 2人 分の視察研修報告書を添付いたします。

参加議員	加藤厚雄 ・ 大竹敦子
日 時	令和 4年 8月 8日（月）～令和 4年 8月10日（水）
視 察 先	徳島県 鳴門市 ・ 兵庫県 神戸市
研 修 内 容	鳴門市 フェーズフリーなまちづくり事業について 神戸市 がん対策推進条例について
視察先面会者 又は講師名等	鳴門市 泉 道彦鳴門市長、潮崎憲司副議長 佐藤唯行一般社団法人フェーズフリー協会代表理事 企画総務部戦略企画課 喜多剛士課長 教育委員会学校教育課 梶原 真課長、佐古高伸主査 神戸市 市会事務局政策調査課 今泉諒哉 健康局健康企画課 渡辺正樹課長、橋本佳明担当係長
備 考	

※ 相手方から收受した資料の写しを添付してください。

視察研修成果報告書

令和4年 11月 15日

議員氏名 加藤厚雄

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期 間 令和4年8月8日（月） ～ 令和4年8月10日（水）
- 2 視 察 先 徳島県鳴門市、兵庫県神戸市
- 3 視察の種類 会派視察
- 4 視察の成果等

徳島県鳴門市（研修項目 フェーズフリーなまちづくり）

一般に普段の生活はこれを「日常」と呼ばれ、大きな災害等が発生すると、この日を境に「非日常」の生活となります。

これまでの防災は、防災に取り組むことは非日常に備えるという考えであった。その中で防災の課題は日常の生活に追われる中、非日常（災害）の対応を考えたり、備えたりする暇がないことである。また、日常を過ごす中で、非日常（災害）の状況が想像できないことにある。しかし、それでは大切な人（市民）を守れない。ならば、いつも（日常）の取り組み（物やサービス）がそのまま、もしも（非日常）の時にも生かされる考え方をすれば良い。これが「フェーズフリー」である。

鳴門市の取り組み

ハザードマップ	日常時は	まち歩きマップ
市役所新庁舎	日常時は	まちと庁舎をつなぐ広場がある
ウズホール（開放施設）	非日常は	建物が災害時の機能を有する
道の駅「くるくるなると」	非日常に	防災機能を有する

これらの取り組みを現地で視察し、また、学校教育にも取り入れており、「なるとフェーズフリーコンテスト」があり、市民の意識・取り組みが向上している事を認識した。

兵庫県神戸市（研修項目 がん対策推進条例）

地方自治体のがん対策推進条例は8割程が議員提案による条例である。神戸市のがん対策推進条例の制定の経緯を視察した。議員が作成した条例案をもとに、実際に運用する行政との勉強会を複数回にわたって開催し、内容を検討している。行政の勉強会、医師会等の関係団体への説明、与党会派に説明等を行い、本会議に議案提案している。制定後の効果として、がん対策推進懇話会の意見を伺い、施策を推進している。

会派視察研修成果報告書

令和 4年 9月16日

議員氏名 大竹 敦子

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

- 1 期 間 令和 4年 8月 8日（月）～令和 4年 8月10日（水）
- 2 視察先 徳島県 鳴門市 、兵庫縣 神戸市
- 3 視察の種類 先進地視察
- 4 視察の成果等

鳴門市「フェーズフリーなまちづくりについて」

市長への表敬訪問

今回の視察では、視察に先立ち、「フェーズフリーなまちづくり」をトップダウンで進められてきた鳴門市の泉理彦市長に表敬訪問し、「フェーズフリーなまちづくり」の実施への経緯や思いを聞かせていただきました。災害対策の必要性への思いを強くしたのは、南海トラフ巨大地震などの大災害を想定し、子どもたちの30年後を見越して、今、防災減災に取り組む必要性を感じ、まずは、教育、福祉、まちづくりなど具体的な施策をトップダウンで推進していくことにされたとのことでした。

しかしながら、防災減災のためだけの備えに、十分な経費をかけることの難しさに直面し、災害時を非日常としたら、非日常の備えを日常的にも利用することはできないかという考え方、フェーズフリーという非日常と日常の壁を取り払い、日常的に使えるものが、災害時にも役立たせることができる考え方を施設整備に取り入れていくことにされました。それは、日頃から利用しているからこそ、いざという時にもあわてず利用できるということになります。令和4年3月に策定された「鳴門市地域防災計画」に「フェーズフリーの研究・啓発」を盛り込んだことも大きな成果であると言われていました。

具体的なフェーズフリー例として、ハザードマップの活用です。ハザードマップを全戸配布しても、ハザードマップはいざという時のためのものであり、日常生活では、不要なため、何処かにしまい込んでしまいます。いざという時にどこにしまったか分からなくなり、活用できないことがあります。そのハザードマップを日常的に活用するため、健康保持のためのウォーキングコースを載せることで、日常でも利用でき、いざという時の避難経路も身につくという考え方です。

フェーズフリーな商品としては、「脱出ハンマー機能付きUSBシガーソケット」や

「加圧式油性ボールペン」「目盛り付きデザイン紙コップ」などもあります。

そのフェーズフリーの考え方は、一般社団法人フェーズフリー協会の代表理事をされている佐藤唯行氏との出会いによることが大きく影響しているということです。今回の視察にも佐藤代表理事は、鳴門市のまちづくりアドバイザーとして同行していただき、ご指導いただきました。

市民の認知と今後のフェーズフリーの展開について

市民への周知・啓発として、2019年11月号の市の広報に「フェーズフリーのまち 鳴門を目指して」と題したフェーズフリーの考え方の掲載、また、2020年新春座談会として、1月号の広報に、泉鳴門市長が一般社団法人フェーズフリー協会の佐藤代表理事、高校生2人を招き、行なった座談会の様子を掲載しました。

また、生涯学習まちづくり講座を実施し、フェーズフリーの考え方を地域住民に周知・啓発しています。

市の総合防災訓練を、フェーズフリーの考え方を取り入れた設計になっている公民館で実施しました。設備としては、LPガスのガスキッチンを採用し、非常用発電機としてLPガス発電機を導入し、発災時の電力を確保します。各部屋は移動式間仕切りで仕切り、避難所としての利用の際はプライベート空間として確保します。

鳴門市新庁舎整備事業について

旧庁舎は、築9年が過ぎ、雨漏りもあり、耐震化もなく、水害による高潮は2mの浸水被害が想定されています。現在の場所では、立地に課題があるため、新築の場合、高台への移転も考えたが、現在ある市の中心で防災拠点としての機能を持った庁舎の建設をすることとしました。

主なフェーズフリーとして、災害時、津波避難タワーとして近隣住民が避難できるように外階段をつけ、広いバルコニーを整備しています。通常は市民の憩いの場としてソファやいすを設置し、展望デッキとし、会議室としての利用もできます。屋上には、800人の避難者を収容できます。また、各階のフロアーは、いざというとき、避難しやすいようにわかりやすく、安全で利用しやすい動線となっています。

構造的にも、1階はSRC造とし、2階から5階はS造として、建設費用をおさえている。尚且つ災害に強い構造とするため、免震装置を整備し、1階のフロアーは、安全に避難できるように煙が上に行くように、通常より1m高い天井の構造にしています。建物の周りには、津波より高い塀を整備し、庁舎内への浸水を防いでいます。日除けルーバー等による日射遮蔽と各種省エネ手法を使い、50%の省エネを達成できるとのことです。庁舎敷地内の広場は、日常では賑わい拠点とし、非常時では、屋外災害対策拠点となります。

「ウズパーク・ウズホール」について

「ウズパーク・ウズホール」は、地域開放型施設として大人から子どもまで多くの方々に楽しんでいただける施設です。ウズパークには、無料のスケートパーク、ボルダリング、バスケットボールコート、サイクルステーションがあり、災害時には、避難所運営事務所、会議室となり、トイレ、シャワー室は災害時にも利用できます。自動販売機は、避難者に飲料を提供します。

ウズホールでは、充電用電源、放送設備、ボルダリングマットは、避難所のベッドとして、屋外設備を高所に置き、浸水被害から守り、2階から脱出できるようドアを設置、建物の壁にテント用の杭を設置しています。

道の駅「くるくるなると」について

道の駅「くるくるなると」は四国地方、徳島県鳴門市の玄関口にあり、交通の要衝に整備されています。施設概要は、フェーズフリーな観点を取り入れ、駐車場、トイレ、休憩室、観光案内所、備蓄倉庫、貯水槽、物販施設、レストラン、子どもの遊び場、展望デッキなどがあります。施設の前面をガラス張りにし、快適性と開放感を出し、災害時は、建物外の災害状況の把握に役立ちます。子どもの遊び場や2棟の展望デッキは、津波避難場所となり、通常はジップラインとして集客が期待されています。施設内の渦潮滑り台、人工芝のスロープは、通常は遊具として、災害時は、滑り台は避難動線として活用、人工芝のスロープは車両も通行できるようになっています。物産館は、非常時には、避難者への食料として供給されます。

「学校のフェーズフリー」について

防災教育の充実として、自分で考え、率先避難できる子どもの育成、家庭において防災についての話し合いの必要性、地域の実態に合わせた教材の作成を重点項目として、フェーズフリーの学校教育への導入をしました。そのため、市内の全教職員を対象にフェーズフリー研修を実施しました。鳴門市教育委員会では、令和3年度、「防災教育の充実」の取り組みのため、フェーズフリーの学校教育への導入をしました。毎月1日を「フェーズフリーの日」として位置づけ、各園、各学校でフェーズフリーに関する教材の実施をしています。

提言

鳴門市で取り組まれているフェーズフリーな考え方は、防災減災のためだけの備えに、十分な経費をかけることの難しさもあります。災害用の備えでは、いざという時に使えなかったりと十分に活用できないことが考えられます。災害時を非日常としたら、非日常の備えを日常的にも利用することはできないかという考え方は素晴らしい、発想の転換であり、費用対効果も高いと思います。目の前にあるものの見方を少し変えるだけでフェーズフリーな考え方ができます。特に市の公共施設にあって、フェーズフリーな観点から施設を整備することは、重要だと感じました。また、子ども達の教育の充実のために、フェーズフリーな考え方で指導することは、実体験にむすびつき、大変、学習的にも、防災的にも学習効果を上げる取り組みになると感じました。ぜひ、本市でも取り組み、市民へもこのフェーズフリーな考え方が周知され、防災意識の向上につながることを願います。

神戸市がん対策推進条例について

制定の経緯

神戸市がん対策推進条例は、議員提案による条例で、平成25年10月、議員が作成した条例案をもとに実際に運用する行政との勉強会を複数回にわたって開催し、内容を検討。同年11月、医師会等関係団体、与党会派への説明。翌平成26年2月、本会議に議案提案。3月 議決を経て4月より施行。

条例制定の背景としては、神戸市の年間死亡者のうち、がんによる死亡者が3割を占めるが、がん検診の受診率は低迷していた。そういう状況に、がん予防の重要性を市民に十分浸透できていると言えない。がん予防の意識啓発、予防対策、患者支援の充実の必要性があった。

神戸市がん対策推進懇話会について

条例施行後、5月、神戸市がん対策推進懇話会が設置されました。委員は、がんの専門家、学識経験者、保健医療関係者、患者団体で構成され、がん対策の在り方などについて意見交換し、市民に反映させていくことを目的としている。

条例改正

がんの治療技術の進歩等により、仕事をしながら治療を続けることが可能となり、条例に、がん患者の就労支援に関する規定を追加するため、条例改正された。

がん患者への支援

市内6か所のがん相談支援センターで相談対応を実施。アピアランスサポート事業。若年者のターミナルケア支援事業。妊孕性温存治療に係る助成事業。（兵庫県事業）骨髄等ドナー支援事業。「KOBEGANガイド」の作成。

条例制定後の効果

がん対策の充実に向けて、がん対策推進懇話会での有識者の意見を聞き、各局が連携・協力して様々なしさが推進されたこと。条例制定後の主な取り組みは、受動喫煙防止策、がん教育の推進、がん検診受診率の向上、がん患者等支援の拡充などがある。

課題

がん検診後の要精密の方への医療機関への受診の働きかけなど精度管理、がん患者支援の就労について、まだ体制に不十分な面がある。セミナー等を開催し、周知に努める必要がある。終末ケアへの話し合いの市民への周知が必要。

提言

神戸市のがん対策推進条例の強みは、施行後、がん対策推進懇話会が設置され、刻々と変わる情勢や条例により取り組みの推進状況が確認され、年1回議会へ報告されるとともに、課題への解決への取り組みが示され、条例ががん予防対策の推進に大いに効果を発揮している。条例の策定には、行政、関係機関との連携が重要であると感じた。